

別記様式第7-2号（要領（Ⅱ）の第10関係）

養蜂等振興強化推進事業のうち在来種マルハナバチの利用拡大支援事業に関する事業評価票

協議会名	事業実施	具体的な取組内容	取組の実施時期、事業量等	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				事業内容	地方農政局長等の意見
					基準年 (計画策定時) 平成30年度	目標年 令和3年度	目標値	達成度合		
館山市いちご組合 (千葉県館山市)	平成30年度	館山市いちご組合において、「在来種マルハナバチの利用拡大支援事業」を活用し、地域での在来種マルハナバチ利用上の注意点を明らかにし、組合員への周知を図ること で、継続的に在来種マルハナバチの導入を図った。 事業実施年度に実証圃（3箇所・35a）を設置するとともに、講習会、検討会及び現地巡回を実施し、組合員への在来種マルハナバチの普及拡大を図った。	H30年度 ・検討会の開催（10月） ・講習会の開催（3月） ・実証圃の設置（3箇所・35a） H31年度 ・組合員、JA担当者及び普及指導員との圃場巡回による指導。 令和2年度 ・引き続き、組合員、JA担当者及び普及指導員との圃場巡回による指導。 令和3年度 ・引き続き、組合員、JA担当者及び普及指導員との圃場巡回による指導。	在来種マルハナバチの利用農家数を58%以上に増加。	0% (在来種マルハナバチの利用人数12人中0人)	66% (在来種マルハナバチの利用人数9人中6人)	58% (在来種マルハナバチの利用人数12人中7人)	114%	講習会を開催して地域における在来種マルハナバチ利用上の注意点を明らかにし、広く周知するとともに、実証展示圃場を設置し、現地検討会を開催することで在来種マルハナバチの普及を図った。また、関係機関と連携して圃場巡回による指導を行った。	成果目標を達成した。